



a. 術前

b. 術後

図 8. 人工股関節全置換術

3. 隣接関節障害を有する変形性膝・股関節症に対する治療戦略

1) Hip-spine syndrome

原則的に、股関節の手術を優先すべきである。明確な神経症状があり且つ神経症状によるADL・QOL障害が、股関節疾患によるADL・QOL障害を上回った場合のみ腰椎手術を優先すべきである。Hip-spine syndromeとして変性側弯を有する症例に人工股関節全置換術を行った場合、変性側弯のアライメントが改善することは少ないが、腰痛が改善する症例が多い。

2) Coxitis knee

変形性股関節症による二次性変形性膝関節症であるが、膝の痛みを主訴とする症例も多い。股関節の可動域制限が強い症例に対して人工膝関節全置換術を行うと、術後も下肢アライメントは改善されないため、早期にインプラントが破損する危険性がある。そのため、理想的には人工股関節全置換術後に人工膝関節全置換術を行うべきである。患者の希望で人工膝関節全置換術を先に行う場合でも、可及的早期に人工股関節全置換術を計画すべきである。また、coxitis kneeに対して人工股関節全置換術を行った場合、下肢アライメントが改善する症例もある。

3) Hip-hip syndrome

強直股や高度の可動域制限をきたした症例で生じる状態である。患者の希望があれば、早急に患側の人工股関節全置換術を行うべきである。人工股関節全置換術を行うことによって、対側の変形性股関節症の進行を予防できる可能性がある。

まとめ

変形性膝関節症、変形性股関節症は日常診療でよく出会う疾患であるが、病態生理についてはまだ不明な点が多い。また、人間の動作のほとんどは多関節の協調運動であるため、単関節の障害であっても、経時的に隣接関節の障害が出現することがある。さらに、隣接関節障害が生じると、それぞれが相互に影響するため病態は複雑化する。一つの関節の障害を診断した場合、その障害が隣接関節へ影響を与えていないか、またはその障害が隣接関節の障害による二次性の障害であるかなど、常に脊椎・下肢のアライメントを総合的に勘案して診断を行うべきである。病態生理の正確な理解のもとに治療方針を検討することが大切である。

参考文献

- 1) 松村秋芳：初期人類と類人猿の下肢骨形態からみた直立二足歩行の進化。昭和医学会誌。72：170-176, 2012.
- 2) Muraki, S., Oka, H., Akune, T., et al. : Prevalence of radiographic knee osteoarthritis and its association with knee pain in the elderly of Japanese population-based cohorts : The ROAD study. Osteoarthritis Cartilage. 17 : 1137-1143, 2009.
- 3) 斉藤聖二, 有富 寛 : 変形性膝関節症 (井上 一編 : 新図説臨床整形外科学講座 8 巻 大腿・膝). 160-166, メジカルビュー社, 1996.
- 4) 日本整形外科学会診療ガイドライン委員会, 変形性股関節症ガイドライン策定委員会, 変形性股関節症診療ガイドライン. 南江堂, 2008.
- 5) Jingushi, S., Ohfuji, S., Sofue, M., et al. : Osteoarthritis hip joints in Japan : involvement of acetabular dysplasia. J Orthop Sci. 16 : 156-164, 2011.
- 6) Nagamine, S., Sonohata, M., Kitajima, M., Kawano, S., Ogawa, K., Mawatari, M., Hotokebuchi, T. : Seasonal trends in the incidence of hip osteoarthritis in Japanese patients. Open Orthop J. 14 : 134-137, 2011.
- 7) 山田治基, 早川和恵 : 変形性膝関節症の痛み. (宗園 聡, 紺野慎一編 : 運動器の痛みをとる・やわらげる). 24-27, メジカルビュー社, 2012.
- 8) 池内昌彦, 泉 仁 : 内側型変形性膝関節症の疼痛の検討. JOSKAS. 35 : 132-133, 2010.
- 9) Smillie, I. S. : Angular deformity (Diseases of the Knee Joint, 2 nd ed.). 311-312, London, Churchill Living Stone, 1974.
- 10) Konno, S., Hayashino, Y., Fukuhara, S., et al. : Development of a clinical diagnosis support tool to identify patients with lumbar spinal stenosis. Eur Spine J. 16 : 1951-1957, 2007.
- 11) 森本忠嗣, 重松正森, 園畑素樹ほか : 腰部脊柱管狭窄診断サポートツールの妥当性の検証 変形性股関節症における検出率. 整形外科と災害外科. 59 : 319-322, 2010.
- 12) 森本忠嗣, 小河賢司, 重松正森ほか : 変形性股関節症患者の主訴 (患者自記式) の検討. Hip Joint. 34 : 663-666, 2008.
- 13) Offierski, C. M., MacNab, I. : Hip-spine syndrome. Spine. 8 : 316-321, 1983.
- 14) 森本忠嗣, 西田圭介, 重松正森ほか : 変形性股関節症における腰椎すべりの検討 Hip-spine syndrome. 臨整外. 43 : 683-687, 2008.
- 15) 森本忠嗣, 北島 将, 園畑素樹ほか : Hip-spine syndrome 片側変形性股関節症の脚長差と腰椎側弯の関係. Hip Joint. 37 : 107-110, 2011.
- 16) 嶋崎貴文, 重松正森, 佛淵孝夫 : 股関節不良肢位が対側股関節に与える影響 -Hip-Hip Syndrome の提唱-. Hip Joint. 31 : 275-278, 2005.
- 17) 本岡 勉, 田中博史, 佛淵孝夫 : 脚長差を有する症例の足関節変形. 整形外科と災害外科. 59 : 191-194, 2010.
- 18) 変形性膝関節症の管理に関する OARSI 勧告. OARSI によるエビデンスに基づくエキスパートコンセンサスガイドライン (日本整形外科学会変形性膝関節症診療ガイドライン策定委員会による適合化終了版).
- 19) AAOS. TREATMENT OF OSTEOARTHRITIS OF THE KNEE. EVIDENCE-BASED GUIDELINE. 2ND EDITION Adopted by the American Academy of Orthopaedic Surgeons Board of Directors May 18, 2013 <http://www.aaos.org/Research/guidelines/TreatmentofOsteoarthritisoftheKneeGuideline.pdf>
- 20) Hochberg, M. C., Altman, R. D., April, K. T., et al. : American College of Rheumatology 2012 recommendations for the use of nonpharmacologic and pharmacologic therapies in osteoarthritis of the hand, hip, and knee. Arthritis Care Res (Hoboken). 64 : 465-474, 2012.
- 21) McAlindon, T. E., Bannuru, R. R., Sullivan, M. C., et al. : OARSI guidelines for the non-surgical management of knee Osteoarthritis. Osteoarthritis and Cartilage. 22 : 363e388, 2014.
- 22) Zhang, W., Doherty, M., Arden, N., et al. : EULAR Standing Committee for International Clinical Studies Including Therapeutics (ESCI-SIT). EULAR evidence based recommendations for the management of hip osteoarthritis : report of a task force of the EULAR Standing Committee for International Clinical Studies Including Therapeutics (ESCI-SIT). Ann Rheum Dis. 64 : 669-681, 2005.

VI. 参考資料

班会議・合同班会議
(プログラム)

慢性の痛み診療・教育の基盤となるシステム構築に関する研究班

平成 27 年度 第 1 回 班会議

プログラム

日時：平成 27 年 4 月 26 日（日）9:30～12:00

場所：フクラシア東京ステーション D会議室

東京都千代田区大手町 2-6-1 朝日生命大手町ビル 6F

《タイムスケジュール》

9:20 受付

9:30 開始 挨拶

9:35 1. 痛みセンター構築の現状報告

1) iPad 問診システムの報告

2. 集学的チームによる医療の開発

1) チームのスタイルについて

2) 評価法の変更の検討（カンファレンスシート）

3) 集中プログラムの取り組みについて

3. 集学的痛み診療システムの社会・医療経済への効果の調査

4. 国民への慢性痛の問題点と対処法の普及啓発促進について

11:30 HPV ワクチン対応について 厚労省結核感染症課より

12:00 終了

《参加予定者》

(順不同・敬称略)

松倉 遊 (厚生労働省疾病対策課)	井上 肇 (厚生労働省結核感染症課)
清水 亜紀 (厚生労働省結核感染症課)	矢吹 省司 (福島県立医科大学)
木村 慎二 (新潟大学)	井関 雅子 (順天堂大学)
北原 雅樹 (東京慈恵会医科大学)	松平 浩 (東京大学)
村上 孝徳 (札幌医科大学)	篠川 美希 (東京大学)
中村 裕之 (金沢大学)	松原 貴子 (日本福祉大学)
福井 聖 (滋賀医科大学)	川崎 元敬 (高知大学)
柴田 政彦 (大阪大学)	田倉 智之 (大阪大学)
鉄永 倫子 (岡山大学)	西江 宏行 (岡山大学)
細井 昌子 (九州大学)	塩川 浩輝 (九州大学)
加藤 実 (日本大学)	平川 奈緒美 (佐賀大学)
木村 嘉之 (獨協医科大学)	尾形 直則 (愛媛大学)
山崎 光章 (富山大学)	榊原 紀彦 (三重大学)
高橋 良佳 (順天堂大学)	村上 (順天堂大学)
龍野 (岡山大学)	若園 和朗 (ぐっどばいペイン)
新井 健一 (愛知医科大学)	青野 修一 (愛知医科大学)
西原 真理 (愛知医科大学)	池本 竜則 (NPO いたみ医学研究情報センター)
浅枝 まり子 (東京慈恵会医科大学)	渡辺 真紀 (東京慈恵会医科大学)
冨永 陽介 (東京慈恵会医科大学)	中楚 (東京慈恵会医科大学)
牛田 享宏 (愛知医科大学)	泉 仁 (愛知医科大学)

慢性の痛み診療・教育の基盤となるシステム構築に関する研究班

平成 27 年度 第 2 回 班会議

プログラム

日時：平成 27 年 6 月 7 日（日）13:00～15:30

場所：フクラシア東京ステーション D会議室

東京都千代田区大手町 2-6-1 朝日生命大手町ビル 6F

《議題》

12:50 受付

13:00 開始 挨拶

13:05～

1) チームの運営状況の確認 【配布資料 1、1-2（チーム表）】

※ 19 施設状況報告

14:05～

2) これからの指定研究事業（これまでの成果【配布資料 2-1】）

ア) 痛みセンターの概念整理、介入の意義【配布資料 2-2】と今後の研究のロードマップ【配布資料 2-3】

イ) チームのタイプ

ウ) スイートスポット探索に向けたクライテリアの設定

Delphi 法、後方探索

エ) 医療経済学的探索

オ) スイートスポットに相当する人口の調査・疫学調査

カ) iPad システムの利用と改変

iPad システム+αを利用して、どのような患者さんが良くなり、どのようなタイプが良くなるのか（これまでの結果を提示して、今後の改良点を考える）

3) センターの経営について

① 外来運営型

② 集中プログラム型（入院および入院に近い外来プログラム）【配布資料 3-1、3-2】

プログラム案

教育コンテンツ案

4) 講義教育

将来の講座化を含めた教育コンテンツなどの整備整理

5) 患者・市民教育用資材の作成

15:30 終了予定

《参加予定者》

(順不同・敬称略)

松倉 遊 (厚生労働省疾病対策課)	山下 敏彦 (札幌医科大学)
村上 孝徳 (札幌医科大学)	矢吹 省司 (福島県立医科大学)
木村 慎二 (新潟大学)	井関 雅子 (順天堂大学)
北原 雅樹 (東京慈恵会医科大学)	松平 浩 (東京大学)
住谷 昌彦 (東京大学)	篠川 美希 (東京大学)
中村 裕之 (金沢大学)	松原 貴子 (日本福祉大学)
福井 聖 (滋賀医科大学)	柴田 政彦 (大阪大学)
田倉 智之 (大阪大学)	山崎 光章 (富山大学)
鉄永 倫子 (岡山大学)	西江 宏行 (川崎医科大学)
細井 昌子 (九州大学)	塩川 浩輝 (九州大学)
加藤 実 (日本大学)	江里口 誠 (佐賀大学)
山口 重樹 (獨協医科大学)	木村 嘉之 (獨協医科大学)
尾形 直則 (愛媛大学)	鈴木 秀典 (山口大学)
高橋 良佳 (順天堂大学)	龍野 耕一 (岡山大学)
若園 和朗 (ぐっどばいペイン)	浅枝 まり子 (ぐっどばいペイン)
玉川 隆生 (順天堂大学)	浜口 孝幸 (東京慈恵会医科大学)
富永 陽介 (東京慈恵会医科大学)	大友 博之 (東京慈恵会医科大学)
上田 博子 (東京慈恵会医科大学)	筒井 直美 (東京慈恵会医科大学)
渡部 真紀 (東京慈恵会医科大学)	林 陽子 (東京慈恵会医科大学)
新井 健一 (愛知医科大学)	池本 竜則 (NPO いたみ医学研究情報センター)
西原 真理 (愛知医科大学)	青野 修一 (愛知医科大学)
井上 雅之 (愛知医科大学)	呉 愛玲 (愛知医科大学)
牛田 享宏 (愛知医科大学)	

慢性の痛み診療・教育の基盤となるシステム構築に関する研究班

平成 27 年度 第 3 回 班会議

プログラム

日時：平成 27 年 10 月 4 日（日）12:30～15:00

場所：大手町ファーストスクエアカンファレンス

東京都千代田区大手町 1-5-1

ファーストスクエア イーストタワー2F A会議室

《議題》

12:20 受付

12:30 開始 挨拶

12:35～

1. 進捗状況報告と課題整理

- ・ペインセンター診療患者の特徴抽出によるスクリーニング法と適応患者について【15分】
住谷先生（東京大学）

- ・iPad 問診システムを用いたスイートスポット解析

- ・ICD11 使用法についてのディスカッション

- ・入院型ペインマネジメントの方向性について【15分】
高橋先生（福島県立医科大学）

- ・ビデオ翻訳状況

- ・マー君の導入について

14:05 《休憩 5分》

14:10～

2. 子宮頸がんワクチン接種後痛の患者に対する対応【20分】
柴田先生（大阪大学）

14:30～

3. 各施設の問題点について【30分】

15:00 終了予定

《参加予定者》

(順不同・敬称略)

福井 亮 (厚生労働省疾病対策課)	山下 敏彦 (札幌医科大学)
村上 孝徳 (札幌医科大学)	矢吹 省司 (福島県立医科大学)
木村 慎二 (新潟大学)	井関 雅子 (順天堂大学)
北原 雅樹 (東京慈恵会医科大学)	松平 浩 (東京大学)
住谷 昌彦 (東京大学)	篠川 美希 (東京大学)
松原 貴子 (日本福祉大学)	榊原 紀彦 (三重大学)
福井 聖 (滋賀医科大学)	柴田 政彦 (大阪大学)
田倉 智之 (大阪大学)	山崎 光章 (富山大学)
鉄永 倫子 (岡山大学)	西江 宏行 (川崎医科大学)
細井 昌子 (九州大学)	塩川 浩輝 (九州大学)
加藤 実 (日本大学)	横山 正尚 (高知大学)
尾形 直則 (愛媛大学)	西尾 芳文 (徳島大学)
平川 奈緒美 (佐賀大学)	木村 嘉之 (獨協医科大学)
鈴木 秀典 (山口大学)	高橋 直人 (福島県立医科大学)
伊東 久勝 (富山大学)	村上 安壽子 (順天堂大学)
龍野 耕一 (岡山大学)	神崎 浩孝 (岡山大学)
山本 悠介 (日本大学)	富永 陽介 (東京慈恵会医科大学)
若園 和朗 (ぐっどばいペイン)	浅枝 まり子 (ぐっどばいペイン)
新井 健一 (愛知医科大学)	西原 真理 (愛知医科大学)
青野 修一 (愛知医科大学)	井上 雅之 (愛知医科大学)
牛田 享宏 (愛知医科大学)	池本 竜則 (NPO いたみ医学研究情報センター)

慢性の痛み診療・教育の基盤となるシステム構築に関する研究班

第4回 班会議

プログラム

日時：平成28年2月14日（日）10:00～13:00

場所：フクラシア東京ステーション D会議室

東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル6F

《議題》

9:45 受付

10:00 開始 挨拶

10:05～10:35 1)AMED 紹介 各班3分紹介（30分）

10:35～10:45 2)MPC 診療のデータ収集・解析状況(青野・中村先生)(10分)

10:45～11:15 3)診療体制

クリニック型について(柴田先生 6分)

入院リハビリシステム等について(矢吹先生 6分)

他の連携タイプ(井関先生 6分)

Interdisciplinary タイプと地域連携システム(牛田 6分)

11:15～11:35 4)スイートスポット

過去のデータから(新井もしくは牛田 5分)

STarT Back 包括的状态スケールとSSS-8の妥当性等について

(松平先生、岡先生 10分)

ディスカッション

11:35～12:10 5)ウェブページアップデート状況 牛田

①班として痛みセンターの運営状況を告知するページの創設(15分)

②PainWiki 進行状況(5分)

③Pain Management Network の翻訳状況(5分)

④NHK のビデオ作成(10分)

12:10～12:25 昼食休憩(15分)

12:25～12:35 6)教育資料の開発について (細井先生 10分)

配布資料のみ(滋賀医大、岡山大、愛知医大)

12:35～12:55 7)海外視察報告(各5分)

・Brigham and Women's Hospital(木村先生)

- Massachusetts General Hospital(鉄永先生、塩川先生)
- Cleveland Clinic(鈴木先生)
- Sydney(北原先生)

13:00 終了予定

《参加予定者》

(順不同・敬称略)

福井 亮 (厚生労働省難病対策課)	村上 孝徳 (札幌医科大学)
矢吹 省司 (福島県立医科大学)	高橋 直人 (福島県立医科大学)
木村 慎二 (新潟大学)	山口 重樹 (獨協医科大学)
木村 嘉之 (獨協医科大学)	加藤 実 (日本大学)
井関 雅子 (順天堂大学)	北原 雅樹 (東京慈恵会医科大学)
松平 浩 (東京大学)	岡 敬之 (東京大学)
篠川 美希 (東京大学)	笠原 諭 (東京大学)
川口 善治 (富山大学)	山崎 光章 (富山大学)
中村 裕之 (金沢大学)	福井 聖 (滋賀医科大学)
柴田 政彦 (大阪大学)	田倉 智之 (大阪大学)
鉄永 倫子 (岡山大学)	西江 宏行 (川崎医科大学)
龍野 耕一 (岡山大学)	尾形 直則 (愛媛大学)
鈴木 秀典 (山口大学)	横山 正尚 (高知大学)
川崎 元敬 (高知大学)	泉 仁 (高知大学)
細井 昌子 (九州大学)	塩川 浩輝 (九州大学)
西尾 芳文 (徳島大学)	國武 裕 (佐賀大学)
冨永 陽介 (東京慈恵会医科大学)	伯母 治 (東京慈恵会医科大学)
濱口 孝幸 (東京慈恵会医科大学)	菊池 暢子 (順天堂大学)
高橋 智子 (順天堂大学)	千葉 聡子 (順天堂大学)
若園 和朗 (ぐっどばいペイン)	新井 健一 (愛知医科大学)
西原 真理 (愛知医科大学)	青野 修一 (愛知医科大学)
井上 雅之 (愛知医科大学)	池本 竜則 (NPO いたみ医学研究情報センター)
牛田 享宏 (愛知医科大学)	

《AMED 研究班より》

高橋 真治 (大阪市立大学)	星野 雅俊 (大阪市立大学)
松本 美富士 (東京医科大学)	横田 隆徳 (東京医科歯科大学院)
永田 哲也 (東京医科歯科大学院)	榎本 光裕 (東京医科歯科大学院)
加藤 総夫 (東京慈恵会医科大学)	宗田 大 (東京医科歯科大学院)

「慢性の痛み診療・教育の基盤となるシステム構築に関する研究」班
「子宮頸がんワクチン接種後の神経障害に関する治療法の確立と情報提供についての研究」班
合同班会議

日時：平成28年2月24日（水）15:00～18:00

場所：フクラシア東京ステーションA会議室

東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル6F

次 第

1. 開会 15:00

2. 挨拶 15:05-15:10

厚生労働省健康局健康課長 正林督章

3. 各班における研究成果について

15:10-16:10（質疑・意見交換含む）

子宮頸がんワクチン接種後の神経障害に関する治療法の確立と情報提供についての研究

池田修一（信州大学医学部脳神経内科、リウマチ・膠原病内科教授）

高嶋 博（鹿児島大学神経内科 教授）

～休憩

16:20-17:20（質疑・意見交換含む）

慢性の痛み診療・教育の基盤となるシステム構築に関する研究

牛田享宏（愛知医科大学 学際的痛みセンター教授）

北原雅樹（東京慈恵会医科大学付属病院 ペインクリニック診療部長、麻酔科准教授）

井関雅子（順天堂大学医学部付属順天堂医院 麻酔科・ペインクリニック教授）

4. 全体意見交換 17:20-17:50

5. その他

《参加予定者》 ○は発表者

(順不同・敬称略)

【池田班】

- | | |
|-------------------|---------------|
| ○池田 修一 (信州大学) | ○高嶋 博 (鹿児島大学) |
| 日根野 晃代 (信州大学) | 松浦 英治 (鹿児島大学) |
| 荒田 仁 (鹿児島大学) | 桑原 聡 (千葉大学) |
| 関口 緑 (千葉大学) | 平野 成樹 (千葉大学) |
| 神田 隆 (山口大学) | 西川 典子 (愛媛大学) |
| 平井 利明 (東京慈恵会医科大学) | |

【牛田班】

- | | |
|--------------------|----------------|
| ○牛田 享宏 (愛知医科大学) | 木村 慎二 (新潟大学) |
| 加藤 実 (日本大学) | 山口 重樹 (獨協医科大学) |
| 木村 嘉之 (獨協医科大学) | ○井関 雅子 (順天堂大学) |
| ○北原 雅樹 (東京慈恵会医科大学) | 柴田 政彦 (大阪大学) |
| 橋本 亮太 (大阪大学) | 鉄永 倫子 (岡山大学) |
| 細井 昌子 (九州大学) | 塩川 浩輝 (九州大学) |

【祖父江班】 オブザーバー

- | | |
|----------------|---------------|
| 祖父江 友孝 (大阪大学) | 柴田 政彦 (大阪大学) |
| 福島 若葉 (大阪市立大学) | 喜多村 祐里 (大阪大学) |

【厚生労働省】

- 正林 督章 (厚生労働省健康局健康課)
- 石川 直子 (厚生労働省健康局健康課予防接種室)
- 清水 亜紀 (厚生労働省健康局健康課予防接種室)
- 福井 亮 (厚生労働省健康局難病対策課)

